

株式会社Stroly

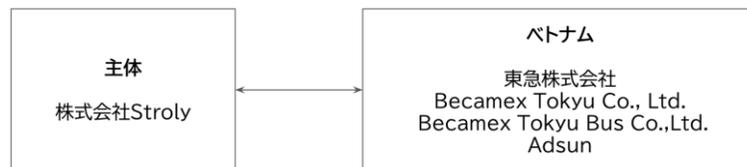
ベトナム・ビンズン省におけるGPS連動型デジタルマップを活用した来街促進 及び公共交通の利便性向上に向けたMaaS実証事業



本事業の目的

本事業は、ベトナム・ビンズン新都市における交通渋滞と大気汚染の緩和を目的とし、公共交通機関の利用促進を目指した。ベトナムでは、急速な経済発展に伴い都市部で深刻な交通渋滞と大気汚染が発生している。これにより、経済的損失や健康被害などの社会問題を引き起こしている。政府は、公共交通機関の改善、規制強化、交通インフラの整備促進といった対策を講じている。しかし、急速な経済成長や都市化に追いついていない状況である。政府主導の対策を待つだけでなく、国民の意識向上や環境教育の充実といったボトムアップの施策を同時に進めることが求められる。

現地企業や政府との協力・連携



ASEAN側パートナー企業の詳細、本事業における役割等

- 東急株式会社及び、Becamex Tokyu Co., Ltd.
 - 現地でのマップ制作のコーディネート、コンテンツ提供、現地取材時のサポート、現地でのプロモーション、事業後の運用
- Becamex Tokyu Bus Co.,Ltd.及び、Adsun社
 - バスロケーションAPIの提供協力

現地の経済・社会課題

ベトナムは急速な経済発展を遂げているが、それに伴い都市部では深刻な交通渋滞が発生している。特にホーチミン市では、交通渋滞による経済損失は年間8,200億円にものぼると試算されている。この交通渋滞は、経済的損失だけでなく、大気汚染、健康被害、生活環境の悪化、労働生産性の低下など、様々な社会問題を引き起こしている。ベトナム政府は、公共交通機関の改善、規制強化、交通インフラの整備促進など、様々な対策を講じている。しかし、急速な都市化に追いついていないのが現状である。このような状況下では、政府主導の対策を待つだけでなく、市民一人ひとりの意識改革や環境教育の充実など、ボトムアップ型の施策を同時に進めることが重要となる。本事業は、ベトナム南部のビンズン新都市を舞台に、デジタルマップを活用した公共交通機関の利用促進と都市の未来ビジョンの共有を目指した。ビンズン新都市は、ホーチミン市の人口増加に伴い、郊外の受け皿として開発が進められている地域である。この地域で先行的に交通課題の解決モデルを実証することで、将来的にはホーチミン市などの大都市圏への横展開を目指している。



株式会社Stroly

ベトナム・ビンズン省におけるGPS連動型デジタルマップを活用した来街促進 及び公共交通の利便性向上に向けたMaaS実証事業



実証期間

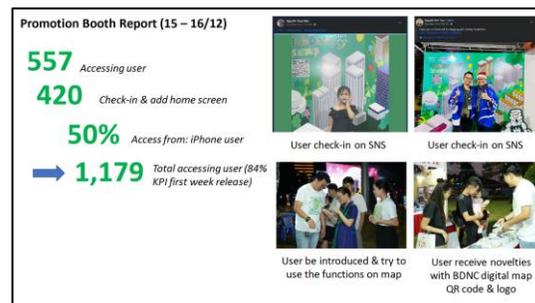
2023年8月～2024年2月

実証した内容

本事業では、ベトナム・ビンズン新都市で、公共交通機関の利用促進と都市の未来ビジョンの共有を目的とした実証実験を行った。Strolyのデジタルマップ上に、バスのリアルタイム運行状況を表示する機能を開発・実装し、利用者がバスの位置を容易に把握できるようにした。また、マップ上でバスのアイコンをタップすると路線のルートが表示が可能になる。バス停と合わせて見ることで、自身の行き先と合わせて確認することができ、「どのバスに乗ればいいのかわからない」「バスがいつ来るかわからない」と利用時の不安の解消につなげている。

また、ベカメックス東急が手がける都市開発の様子や、開業予定の新施設などをイラストで表示することで、ビンズン新都市の未来イメージをより鮮明に描けるようにした。

2023年12月15日、16日に現地の複合商用施設「Hikari」にてチェックインブースが設置され、大々的にPRされた。二日間の全体閲覧数は557回に対して現地では420名のエンドユーザーがブースを訪れ、ホーム画面にマップURLを保存した。



事業の成果/今後の予定

デジタルマップは、地域住民や訪問者から好評を得ており、バス利用促進に貢献していると考えられる。公開後、現地複合施設でPRイベントを実施し、2日間で420名のユーザーがマップURLを保存した。アクセス数は順調に増加しており、ベトナム語環境での利用も多い。ベカメックス東急バスのレポートによると、2022年から2023年にかけてバス利用者は増加傾向にあり、本事業もその一助となっていると考えられる。

しかし、課題として、バス利用者の定量的な測定に時間がかかる点が挙げられる。今後も継続的なデータ収集と分析を行い、コンテンツの改善に努める必要がある。加速させるための施策案として、GPSを用いたデジタルスタンプラリーの企画を検討し、2024年2月～3月で実施。デジタルマップを通して、地域の魅力や課題を共有し、解決に寄与していく。本プロジェクトは、地域経済の活性化と社会課題解決に向けた一歩であり、引続きその貢献を行う。

◆今後の活動

- ・コンテンツ拡充や内容更新
- ・エリア内イベント等と連携したデジタルスタンプラリーの実施（2024年10月実施完了。2025年2月にも実施。）
- ・ベトナム国内での横展開

